



芦屋ユネスコ協会
事務局 〒659-8501 芦屋市精道町7-6
芦屋市教育委員会 社会教育部
生涯学習課内

TEL 0797-38-2091
FAX 0797-38-2089

ホームページアドレス
<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>
Eメールアドレス
ashiya@unesco.or.jp

発行：芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければなければならない」

新年の挨拶

芦屋ユネスコ協会 会長 広瀬忠子

芦屋ユネスコ協会のみなさま、
新年あけましておめでとうございます。

年頭に戴いた賀状に「お変わり有りませんか」と添え書きされたのが数枚ありました。変わらない事の有り難さを感謝し、今年もユネスコ活動を通じて頑張りたいと心を新たに致した次第でございます。

昨年は世界中に天災・人災の多い荒れた年でした。「天災は忘れた頃にやって来る」と申しますが、忘れる間の無いほど次々に、人災は毎日暇なく報道されて、心の休まる時がありませんでした。今年は穏やかで平和な年であって欲しいと願うことしきりです。

芦屋ユネスコ協会の昨年の活動は、4月の世界遺産巡りバスツアーから始まりました。建築・歴史・美術それぞれの研究をされているエキスパートがガイドして下さって真に有意義なツアーでした。

8月15日は世界の平和を祈って博愛の鐘を打ち鳴らし、その音は芦屋川に沿って市内に流れて行きました。そして平和について話し合いを致しました。戦争を体験した世代がだんだん少くなる時代、「嫌なことは話したくない」と言って戦争の生々しい悲惨な経験を語りたがらない人がいますが、語り伝えなければ平和の大切さの意識がますます薄れて行く様に思えてなりません。今年もこの行事を続けて行いますので、カレンダーに大きな印をつけてご参加下さい。

次の世代にユネスコ精神をつないでゆくために、子供たち対象にお話会をしました。また毎年恒例の年末親睦会には外務省大阪大使、神長善次氏の講演があり、日頃知ることの出来ない世界情勢を学び、恒例のチャリティービンゴゲームで盛り上がって一年を楽しく締めくくりました。

今年は時代に即した行事を考えていますので、昨年よりも一層のご協力をお願いして年頭の挨拶と致します。



芦屋ユネスコ協会講演会＆親睦会

昨年末、2004年12月21日（火）午後6時から、ホテル竹園において、来賓・会員76名の参加を得て2004年度「年末講演会＆親睦会」が盛大に開催されました。

講演会は外務省大阪担当大使の神長善次氏により「アジアのBCG—東洋の生きる力を読みとる」と題して、西洋の価値観に染まりアジアの心を忘れがちな日本人にいま必要なのはアジアのBCGの接種をうつことである。アジアのBCGとはB（美）、C（思）、G（慈）をさす。アジアの文化・文明の基本を構成する美の心、思惟・思想、慈しむ心といった価値観をとり入れ、日本はアジアをリードして欲しいというアジア文明論に関するお話を興味深く伺いました。

その後 ユネスコ運動に賛同されて活動資金をご寄付頂いた「ゴルフN・F・G・プロインストラクターズ協会様」の山下義房会長に感謝状を贈呈しました。

山中市長による乾杯で始まったディナータイムは和やかな懇談とともに美味しいお料理に舌鼓をうち、ティータイムから始まった恒例のbingoゲームは大いに盛り上がり、会員提供の景品を勝ち取り、懇親会を大いに楽しみました。最後に特別出演頂きました石橋実氏の懐かしい唱歌を聞かせて頂くとともにみんなで合唱もさせていただき、ひと時童心に返ることが出来ました。最後には、ライトダウンした中、全員で輪になって螢の光を歌い、藤原教育長による閉会の挨拶で、2004年末の行事を無事終えることが出来ました。ご協力に感謝致します。

《事務局長 山田利郎》





世界遺産見学バスツアーのご案内 <4月4日>

斑鳩の里

平成17年の世界遺産巡りは、奈良斑鳩の里です。

「柿食えば鐘がなるなり法隆寺」と日本書紀にも記されている法隆寺、別名斑鳩寺は推古14年(606)の創建と伝えられています。現在の法隆寺は7世紀末の再建とされています。幾多の歴史的興味をそそられる寺です。

慈光院は石州流茶法の祖、片桐石州が父の菩薩を弔った寺で、寺というよりも大名茶人好みの書院、茶室、名庭に趣があります。ここで茶人好みの昼食を摂り、抹茶を頂きます。

次に訪れる寺は法越寺で、飛鳥時代の面影を色濃く残す日本最古で、最大の三重塔を見学します。この塔は1300余年の歴史を伝える文化遺産です。

更に、春霞漂うれんげ(蓮華)畠越に見える法輪寺(法琳寺)は、推古30年(622)の創建で、豊臣秀吉もこの寺を祈願寺にしていました。

今回は古きロマンに満ちた飛鳥に想いを馳せる趣向で、昨年同様、建築史専門の学芸員が随行し、解説をしてくださいますので、奮ってご参加下さい。(詳細は同封別紙に記載)

- ☆ 参加希望者は、2月末までに別紙申し込み用紙に必要事項ご記入の上、事務局宛てFAXにて
- ☆ お申し込みください。尚、詳細は3月下旬頃までに、担当役員よりご連絡をさせていただきます。

ユネスコ創設60周年記念

第61回日本ユネスコ運動全国大会 in 名古屋のご案内

ユネスコ創設60周年の今年、2005年の全国大会は、愛知県名古屋市及び国際博覧会「愛・地球博」が開催されている万博会場にて、6月11日(土)12日(日)開催されます。11日は名古屋市公会堂を会場に、「文化の多様性と平和の展望」のテーマで、政策大学院大学教授青木保氏、(財)日本総合研究所理事長寺島実郎氏、東京大学大学院教授藤原帰一氏のシンポジウム、インドスタディツアーレポートなどの予定です。翌12日は万博会場にて国連館を見学し、自由解散となります。

芦屋ユネスコ協会会員であれば誰でも全国大会にご参加いただけます。お気軽に一人でもご参加いただけますし、全国各地のユネスコ運動を知る絶好の機会です。他のユネスコ協会の活動状況も垣間見ることができ、民間ユネスコ運動の理解を深め、運動の発展に向け、さまざまな可能性を知り、ひとりひとり活動のヒントをお持ち帰りいただけるかもしれません。申し込み方法及び詳細は、1月中旬頃に日本ユネスコ協会連盟から会員の皆様のお手元に郵送されている全国大会ご案内をご覧ください。

申込期限は4月20日です。わからないことがございましたら、日本ユネスコ協会連盟(www.unesco.jp)TEL・03-5424-1121)または芦屋ユネスコ協会事務局までどうぞご遠慮なくお訊ねください。



委員会報告とお知らせ

事業部会

◇書き損じ葉書の回収活動を、年間を通して行っています。

年賀状の書き損じ葉書など家の中に残っている使えない葉書(未投函)がありましたら、是非、芦屋ユネスコ協会事務局(芦屋市役所北館4階、教育委員会社会教育部生涯学習課内)にお届け下さい。書き損じ葉書はお金に換えられ、世界寺子屋運動(非識字者のための学校=寺子屋建設)の資金となります。どうぞご協力をお願いいたします。身近な協会役員にお手渡しいただいても結構です。

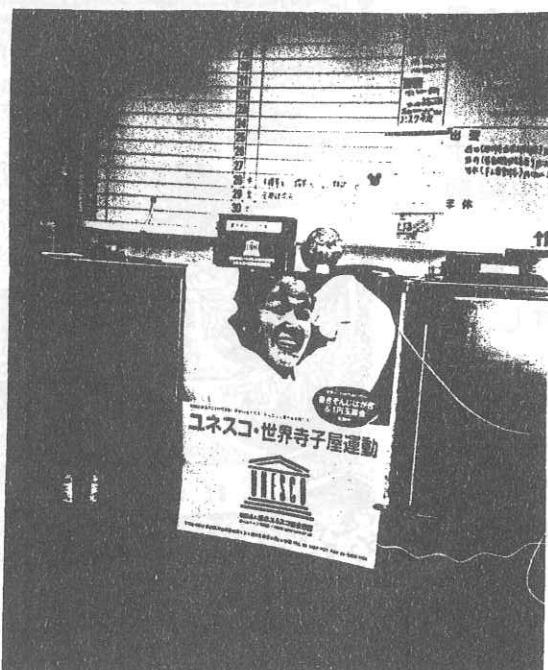
書き損じハガキキャンペーンへのご協力依頼

ユネスコは、国連主導機関として1990年の「国際識字年」、2000年から2015年までの「全ての人々に教育を」、2003年から2012年までの「国際識字の10年」と非識字撲滅を目指にかけ、積極的に教育分野での活動を展開してきました。日本ユネスコ協会の世界寺子屋運動も1989年のスタートから15年を経てユネスコ活動の中心事業となっております。1990年9億600万人だった非識字者人口は、2004年11月現在7億9900万人に減少しましたもの的人口爆発による非識字者増加により、微減にとどまっています。現在さまざまな理由による紛争が世界で起こっていますが、平和の基盤となる教育が不可欠であるとの認識を新たにしております。

本年も恒例となりました「書き損じハガキキャンペーン」を実施致します。書き間違えたり、使わなかった官製ハガキ・年賀ハガキを切手に交換して現金化し、世界の子どもたちを支援しております。

世界ユネスコ協会では、市役所・市立小学校・中学校にBOXを置いています。何卒ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

尚、昨年は543枚を日本ユネスコ本部に送りました。ご協力感謝し、各小・中学校へ感謝状を届けます。有難うございました。



感謝状

芦屋市立 宮川小学校 殿

شکر ধন্যবাদ

cám ơn សារិប់បែល ខ្សោយគារ

(カムオン サリーピーベル フクヤイガル)

(カムオン サリーピーベル フクヤイガル)

世界寺子屋運動へのご協力ありがとうございました。みなさまのご協力は世界の人びとが読み書きを学び、安全でよりよい生活をめざすための教育活動に使われます。社団法人日本ユネスコ協会連盟の願いは教育・科学・文化・コミュニケーションをとおして世界の人びとの相互理解を深め、みんなが協力して平和な世界を築くことです。みなさまのご協力に心から感謝いたします。

社団法人日本ユネスコ協会連盟
会長 児島仁

芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子



ユネスコ・世界寺子屋運動

交流部会

◇会員間の交流の一つとして世界遺産巡りバスツアーの企画を行っています。

今年度のツアー案内を第3面に掲載していますので、同封別紙申し込み用紙にてお申し込み頂き奮ってご参加下さい。

育成部会

◇芦屋図書館友の会との共催で、11月27日(土)に「世界遺産を知ろう」という会を行いました。

来年も引き続き行い、恒例にしていきたいと思っています。

内容：ユネスコ協会についての話。

本部から借用のビデオ(世界遺産3種を15分位にまとめられたもの)観賞。

手作り世界地図の世界遺産所在地へのシール貼布。

協調連携団体報告

芦屋 UNESCO レディス・セミナーハウス

<例会開催予告> 参加希望者は2月9日迄にご連絡下さい。ビジター費：10,000円(含昼食費)

◇2004年2月15日「What A Wonderful World」

ジャネット氏 一ジャズシンガー、通訳者、DJ、ナレーター――

事務局連絡

<会員現況> (1月17日現在)

特別会員 15名	維持会員 33名	普通会員 121名	学生会員 2名
団体会員 1団体	合計会員数 172名+1団体 (現時点、会費未納者 14名)		

<寄付報告>

◇ご寄付頂いた方々

- ・ゴルフN・G・F・プロインストラクターズ協会様 32万円
- ・藤井幸子様 1万円
- ・蟻田尚邦様 1万円

◇芦屋ユネスコ協会からの寄付報告

- 1) 2002年度及び2003年度のbingo売り上げ積立金から
アフガニスタン、バーミヤン遺跡復旧募金に10万円
- 2) 今年度寄付受理金から
世界遺産保護に5万円、寺子屋建設に5万円、中越新潟災害義援金に5万円を拠出

<お願ひ>

◇会員増員の為、会員各人に入会者のご紹介をお願いいたします。

◇AU通信のお手伝いいただける方、ご連絡ください。

※各部会では、仲間を募集しています。今後の活動に関してのご意見などもお寄せ下さい。

～世界文化遺産を守る運動を展開中の広島宮島ユネスコ協会の署名活動に協力～

私たちのユネスコ活動の一環として「世界遺産の保護奨励」があり、ユネスコ運動全国大会や、地域の研修会等で具体的な実践活動が報告されております。昨年10月に開催されました「第60回日本ユネスコ運動全国大会in松山」において、広島宮島ユネスコ協会副会長井口健氏により「宮島町世界遺産巖島神社」について、9月7日の台風18号により海に浮かぶ朱塗りの社殿は強風と高波、激しい雨にさらされ雅楽を演奏する国宝左楽房が倒壊するなど大打撃を受けました。現在、拝観は再開され修復作業が進んでいますが、従来より度々風水害の被害を蒙る経緯もあり、世界文化遺産として維持、継承し、地域活性化に活かすため、国においてその保護活用に関する特別法の制定と行政上の特別区の設定として貰えるよう「宮島町巖島世界遺産地域整備法」の地元希望案を添えて請願のための署名の協力依頼がありました。大会に参加した芦屋ユネスコ協会としても350名の署名を集め、12月に宮島ユネスコ協会へ届けました。私たちも身の回りにある自然や文化財を大切にしていくという世界遺産条約の主旨に添って、危機にさらされている世界遺産の保護奨励に努めるのが重要な仕事と考えております。今回の署名活動協力により、ユネスコ活動の連帯感の醸成に役立ったと思っております。（常任理事 塩井努）

ユネスコ・世界寺子屋運動

1987年の秋、マイケル・ジャクソンがコンサートツアーで初来日しました。このときマイケルは、日本訪問の記念としてユネスコ活動に役立ちたいとマイケルの肖像入り金メダル（マイケル・メダル、裏面には「ユネスコ・コーワクションのために」という英文とマイケルのサインが彫られてた）の販売とチャリティー・オークション用の愛用品提供を日本ユネスコ協会連盟に申し出ました。その純益1200万円余りはマイケルの希望に添って、読み書きできない発展途上国の人々を支援するユネスコ・コーワクション（Unesco Co-Action、発展途上国と先進工業国の人々がともに協力して行動するという意味がこめられている）活動に使うことが決まりました。こうして日本の識字支援活動は1989年からスタートしました。

1990年はユネスコ提唱の「国際識字年」でした。ユネスコは“すべての人に教育を”をキャッチフレーズに、2000年までに目標を達成しようと世界中の人々に協力を呼びかけました。ユネスコの呼びかけに応え、本格的に識字支援に参加することになった日本ユネスコ協会連盟は識字運動をわかりやすく表現する言葉はないものかと知恵をしぼりました。

「世界寺子屋運動」はどう？」と、ボランティアから提案がありました。寺子屋というのは、江戸時代、庶民の子弟のために「読み書きソロバン」を教えた学習塾のことです。幕末には全国に1万を超す寺子屋があったといいます。鎌倉から室町時代には寺に集まる寺子を相手に教えていたことから、その後も学習塾を「寺子屋」と呼んでいました。こうして1990年から発展途上国の識字活動を支援する“世界寺子屋運動”はスタートしました。最初は日本国内キャンペーン用だったこのネーミングも、ユネスコ・世界寺子屋運動が広まるにつれて、そのまま世界に通用する言葉になりました。今では国際会議でも“World TERAKOYA Movement”という言葉がいきかっています。

書き損じ葉書1枚で45円分の募金になります

葉書1枚分で買えるもの

ネパール、アフガニスタン・・・鉛筆が7本

カンボジア・・・・・・・チョーク150本

インド・・・・・・・鉛筆9本

ベトナム・・・・・・・ボールペン4本

アフガニスタンでは、葉書176枚分で一人が1年間学ぶことが出来ます。

編集後記：AU通信への感想・ご意見をお寄せいただくと嬉しいです。寄稿もお待ちしております。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。